

第22回講演会

一般社団法人ふるさと経済フォーラム

小栗上野介の生涯 幕府の運命、日本の運命

司馬遼太郎をして「明治の父」と言わしめた日本近代化に尽くした立役者

一言で国を滅ぼす言葉は『どうにかなろう』の一言なり幕府が滅亡したるはこの一言なり

梅雨に入ってから晴れの日が多く心配していましたが、やっとまとまった雨が降ってきました。さて皆様のお蔭様で、第22回目の講演会を迎えて第1回目で講演して頂いた東善寺住職、村上泰賢和尚をお迎えして小栗上野介の生涯について語って頂く事になりました。講演会を重ねるたびに、まだまだ群馬を知らないと反省させられています。日本近代化に大きな業績を残した小栗上野介公について下記の如く講演会を開催します。この機会に是非大勢の皆様のご参加を心よりお願い申し上げます。



村上泰賢 (むらかみたいけん) 講師

1941年群馬県生まれ。
駒沢大学文学部卒業。東善寺住職。
小栗上野介顕彰会理事。
著書に『小栗忠順のすべて』（新人物往来社）、『小栗忠順従者の記録』（東善寺）などがある。

—記—

日時：平成29年7月15日（土）

PM1時30分受付開始、PM2時開演～3時半

場所：ヤマダ電機 LABI1 高崎（高崎駅東口）

4階イベント会場

〒370-0841 群馬県高崎市栄町1-1

会費：500円（資料代含む）

主催：一般社団法人ふるさと経済フォーラム

住所：前橋市総社町総社1520-1

☎(027)212-8313

理事長：菅野英機 担当：江田保則

後援：高崎市 上毛新聞社



小栗上野介(1827-1868)